

2019. 10. 20 [日]

媒介なき世界はカオスに。

Intermediator Forum 2019

●会場：代官山ヒルサイドテラス CLUB HILLSIDE SALON ●主催：設楽剛事務所 ●共催：(株)ダンクソフト、(株)コスモピア ●申込み：intermediator.jp

VULCAD な社会*で中核的存在となる「インターメディアエーター」。人間・機械・自然という、異なる領域をさまざまな次元で媒介し、対話と協働をうながすモノやヒト。“あいだ”から両側を活かし、新たな均衡、需要、未来を創り出す存在です。代官山ヒルサイドテラスにて、第3回フォーラムを開催します。

*VULCAD :

Volatility (浮動性)、Uncertainty (不確実性)、Liquidity (流動性)、Complexity (複雑性)、Ambiguity (曖昧性)、Diversity (多様性)

Intermediator Forum 2019

Welcome to IMF ——創造とは媒介の結果

- ビジネスをはじめ、わたしたちが活動する共同社会は、「関係の網の目」の中で成立しています。ですが、いま人間・機械・自然をむすぶ関係の網の目は、いたるところで切れ切れになっています。
- だからこそ、複雑に絡みあう 21 世紀の難問題を解決するために、多様な知性の「あいだ」に立って、より望ましい変化をもたらすモノやヒトが必要です。こうした「あいだの知」を担う、新しいタイプの媒介役を「**インターミディエーター (intermediator)**」といいます。誰かの上か前に立とうとする“強いリーダー”ばかりを探し求める人にとっては、じつに見えにくい存在です。
- しかし遠くにあるミッションを実現するために、あるいは新たな需要が生まれ、社会や歴史が動き出すプロセスには、異なる文化や領域を媒介し、たがいのちがいを十分に認めつつ、「対話と協働」を促進する人たちが躍動してきました。心ある媒介者をつうじて、粘りづよい調和と連帯を図った結果、私たちは一步步、着実に、確かな変化を起こしてきたのです。その意味で、明日の世界は、あいだを起点に生まれてきました。
- 当日は、キーノート、ケース、オープン・ダイアログをつうじて、「インターミディエーター」というこれからの役割をご案内し、お一人お一人のご活動にさらに弾みをつけるきっかけにさせていただけたら幸いです。創造とは、媒介の結果です。それぞれの領域がかかえる手詰まりを超え、新たな展開をめざす方々にお越しいただきたいと思っています。

設楽 剛 (Tsuyoshi Shidara, Ph.D.)

設楽剛事務所 代表, 慶應義塾大学 博士 [政策・メディア]

Intermediator Forum 2019

Program

Part I

2019. 10. 20

13:00 開場

13:15 集合

13:30 - 14:20 Keynote Speech

インターメディアエイターによる 21世紀問題群の解決

■ 設楽 剛

Part II

14:30 - 15:30 Session 1 : Machine (機械)

「世界をよりよい場所にするための AR と VR」

— A Quest for Redefined " Reality "—

■スピーカー 金丸 義勝 (株 A440 代表取締役, CEO)

■ポリフォナイザー 設楽 剛

15:40 - 16:40 Session 2 : Human (人間)

「Toolmaking から、Worldmaking へ」

— A Quest for Redefined " Human Nature "—

■スピーカー 鈴木 悠平 (文筆家, (株) LITALICO 社長室)

■スピーカー 宇田川 まり絵 (シタテル(株) 事業開発室)

■ポリフォナイザー 設楽 剛

16:50 - 17:50 Session 3 : Nature (自然)

「生命の紐帯^{ちゅうたい}としての森と庭と微生物」

— A Quest for Redefined " Nature "—

■スピーカー 木村 智子 (スマイルプラス 代表)

■スピーカー 小野寺 洋子 (株光英科学研究所 専務取締役)

■ポリフォナイザー 設楽 剛

Part III

17:50 - 18:20 Dialogue & Polyphony

参加者相互、またスピーカーを交えた

オープン・ダイアログとまとめ (多声的に)

18:30 - 19:30 Symposion (対話と懇親の場)

Intermediator Forum 2019

Speakers

金丸 義勝 | Yoshikatsu KANEMARU

(株)A440 代表取締役 / CEO。Sony Computer Entertainment、Microsoft にて、数々の先駆的タイトルを開発・プロデュース。2015年(株)A440を設立し、ARアプリ・VRコンテンツを企画制作。代表作に、初音ミク日本初ARライブ、宇多田ヒカル、シルク・ドゥ・ソレイユ (キュリオス) ほか、最近のVR作品に「えんとつ町のプペル VR」「アバル:ダイナソー」など多数。

鈴木 悠平 | Yuhei SUZUKI | 

文筆家。(株)LITALICO 社長室チーフ・エディター。執筆・編集活動と事業運営を通じ、障害や病気、その他さまざまな要因で生きづらさを感じている人たちとかかわりながら、人が物語を通して回復していくプロセス、〈わたし〉と〈あなた〉の物語が響き合うなかで新たな希望が見出されるプロセスの探求、伴走、創出をこころみている。

宇田川 まり絵 | Marie UDAGAWA

シタテル(株)事業開発室。セツ・モードセミナー卒業、アパレル数社を経て2017年シタテル(株)入社。古色蒼然のアパレル界における新機軸の創出をめざし、異なる領域を結ぶためのコミュニケーション・デザインングを行っている。企業・業種・立場の異なる人々が協働するプロジェクト運営手法が評価され、2018年 Good Project Award 最優秀賞受賞。

木村 智子 | Tomoko KIMURA | 

スマイルプラス 代表。ランドスケープ・アーキテクト & コミュニティ・ガーデン・コーディネーター。熱帯雨林や生物多様性に通じた Singapore specialist tourist guide(自然分野)。まちや公園や各種施設等で、〈コミュニティづくり〉と〈多自然ガーデニング〉を各地でサポート。関わる人びとが楽しみながら参加できるように、「人と場と緑」を対話的に紡ぐ。

小野寺 洋子 | Yoko ONODERA | 

(株)光英科学研究所 専務取締役。同研究所 次期継承者。微生物のはたらきに関心をもち、バイオ技術者として、乳酸菌生産物質や乳酸菌発酵技術を活用した、産学連携研究や新商品開発を推進。経済産業省、平成26・27・28年度、戦略的基盤技術高度化支援事業「複合乳酸菌発酵法を利用した大豆を原料とする抗ストレス食品素材の開発」プロジェクト運営責任者。

Polyphonizer

設楽 剛 | Tsuyoshi SHIDARA

設楽剛事務所 代表、慶應義塾大学 博士 [政策・メディア]。革新型経営者のアドバイザー。対話的に世界構想を描くナラティブ・アプローチを重視。「生命論マーケティング」や「インターメディアエーター」など、23世紀の新たな「協働社会」をみずえたビジネス・パラダイムの導入・形成に取り組む。

Intermediator Forum 2019